

出張報告書

令和1年 8月 5日

市議会議長 米田 貴志 様

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 友永 修

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 令和元年度自治振興セミナー
- 2 出 張 先 鹿児島県庁講堂
- 3 出張期間 令和1年 8月 2日（金）
- 4 出張者氏名 米田貴志、南加代子、友永 修
- 5 てん末報告 別紙の通り

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

友永 修

視察先 鹿児島県 テーマ 自治振興セミナー

日時 令和 1年 8月 2日（金）13時 00分～17時 00分

市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について

人口減少問題の克服と成長力の確保を目指すなか、地方分権改革の進展に伴って、地方公共団体が自主的かつ主体的に地域の実情に合った施策を展開するためには、地方公共団体の職員及び議会議員の一人ひとりが、地方創生や地方分権改革に対する理解を深めるとともに、政策の形成と実効性の確保に関する知識を深めることが重要であることから、①人口減少社会における基礎自治体のあり方 ②人口減少時代の広域連携～圏域における協力体制の構築～ ③AI・RPA で変わる自治体業務、の三つのテーマでセミナーを受けました。

①②については、これまでの出生率の低下から少子化が進んできた経過や人口減少のもたらす地域社会への影響として、2040 年問題など人の変化・経済の変化・インフラの変化などがあげられる。対策として広域連携への展開が必要ではないか。また、人口減少を防ぐための過疎対策から自治体戦略への展開についての内容であった。

ひととき興味深かったのが、③のテーマであった。AI と聞いてもなかなか身近に感じなかったが、今や生活に欠かせないスマートフォンの siri 機能がまさに AI であり、他にも銀行や民間ホテルなどで AI を活用した事例を紹介されながら、AI・RPA の強みや可能性について話を伺った。人口減少が進み、自治体の業務を行うための職員確保が厳しくなるであろうと予想されるが、AI を活用し、RPA を導入する事で時間の短縮と間違いを無くすことが出来ることから、業務の効率化が図れると思われる。AI・RPA の導入は、これからの自治体の市民サービスに必ず貢献できるのではないかと感じました。まだまだ、知識不足だとおもいますので、より研究努力していきたい。